

1 教員向けスキルチェック



定期的に教員向けスキルチェックを実施し、先生方自身の振り返りとして役立てていただくとともに、先生方のスキルに応じたアドバイスを行っています。

3 学校全体・地域全体での環境づくり 学校情報化認定取得に向けた取り組み



令和3年度より、区内小・中学校で「学校情報化認定」の取得を推進しています。学校を巡回し、学校情報化チェックリストの内容を先生方と一緒に確認する等、認定取得のための支援を実施しています。

学校情報化認定とは

日本教育工学協会（JAET）が教育の情報化の推進を支援するために、総合的に情報化を進めた学校を認定する制度。「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を称え、学校情報化優良校として認定する。また、学校情報化優良校が一定以上の割合になった地域を学校情報化先進地域として認定している。

新しい学びをデザインするICT活用

Utilization of information and communication technology for the future of children.

東京都
目黒区教育委員会様
Case 3



目黒区教育委員会

「いつでも」「どこでも」「だれとでも」
つながるICT活用



目黒区の「GIGAスクール構想元年」

目黒区教育委員会では令和3年度を「GIGAスクール構想元年」として教育活動における学習用情報端末の活用を進めています。日常的な活用による「いつでも」LTE回線を活かした場所を選ばない「どこでも」、クラスメイトや外部とつながる「だれとでも」をコンセプトに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行い、「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を目指しています。

わたしたち富士電機ITソリューション株式会社はお客様の未来への思いを一緒に形にしていきます



「いつでも」「どこでも」「だれとでも」つながる ICT 活用

関根 義孝 教育長 目黒区総務部長
10月より現職。「いつでも」「どこでも」「だれとでも」をコンセプトに目黒区の GIGA スクール構想を推進。

一人一台の学習用情報端末を整備する以前は、どのような課題がありましたか。

一人一台の学習用情報端末を整える前は、各学校のコンピュータ教室に、教育用パソコンを約 40 台設置していましたが、児童・生徒が使用できる時間が限られていました。そのため、日常的な ICT 機器の活用のみならず、災害や感染症等の発生などの緊急時においても活用することが可能な環境の整備と、教員の ICT 活用能力の向上を図ることが課題でした。

令和 3 年度は「GIGA スクール構想元年」として、各学校で様々な工夫がされていますね。

各学校では、カメラ機能を使用して記録をしたり、各自が考えたことを文書作成、表計算などの各種アプリケーションを用いて表現したり、友達との間で協働的に問題解決を図ったりするなど、日常的に学習用情報端末を活用しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、やむを得ず登校できない児童・生徒に対しては、学習用情報端末を活用し、学習課題等の配信や、オンラインによる面談を行うほか、授業の様子を家庭に配信する「オンライン授業配信」の取組を行っています。このように、児童・生徒は学習用情報端末を「いつでも」「どこでも」「だれとでも」自分に合った方法で活用し、学習を進めるができるようになりました。



各学校の ICT 活用を支援する「GIGA 支援員」の配置により、どのような効果を感じられていますか。

GIGA 支援員の各学校への配置は、ICT 機器の保守管理や、教員の ICT を活用した授業の支援の面において、必要不可欠であると認識しています。

GIGA 支援員は、週 2 回、定期的に各学校を訪問し、端末操作や授業展開等の技術的な側面から支援を行うことで、各学校の学習用情報端末の安定的な運用に寄与しています。特に、GIGA スクール構想初年度は、ICT の活用について学校間や教員間で差が生じやすいため、GIGA 支援員の専門的な助言は、目黒区立学校教員全体の ICT 活用能力の向上につながっています。



東京 23 区の南西部に位置し、緑豊かで歴史・文化の香るまち。令和 3 年 2 月より、区立小・中学校の児童・生徒に学習用情報端末「iPad」を整備。LTE 回線を採用し「いつでも」「どこでも」「だれとでも」をコンセプトに主体的・対話的・深い学びの視点から授業改善を行い「個別最適な学びの実現」「協働的な学びの実現」を目指す。

LTE 回線の強みを活かし 学校や自宅でシームレスな活用を実践。

目黒区の小・中学校では、場所にとらわれないシームレスな活用を実践しています。令和 3 年度の区立小・中学校の活用の様子をご紹介します！

授業の中で、日常的な ICT 活用

小学校 6 年生 社会科「豪族たちはなぜ古墳をつくったのか考えよう」

Jamboard のワークシートに自分の予想、教科書や資料集から調べた内容をまとめて、グループや全体で共有しました。



学年閉鎖の中でもオンラインで実現

小学校 4 年生 図画工作科「水の美を探そう」 ※4 クラス合同のオンライン授業
家中にある水の美を探し、写真を撮影してスライドにまとめました。各クラスの提出フォルダを共有することで、学年の友達の作品も鑑賞できるようにしました。



スピーキング課題も classroom で提出

中学校 外国語科(英語) スピーキングの課題を動画撮影して提出

英語によるスピーチを、動画で撮影して Classroom で提出することで、教室で行うよりも、生徒の口の動きが見やすくなりました。学年閉鎖中の課題でしたが、生徒向けの手順書を事前に共有することで、生徒それぞれが、自分のタイミングで取り組むことができました。



音楽会の点数集計を自動化

中学校 音楽会での活用

時間があまり取れない中で点数集計を効率化するため、Forms とスプレッドシートを連携した自動集計表を活用。当日は、QRコードも活用し必要な採点フォームにアクセスできるようにしました。



※この紙面の事例は、令和 3 年度の目黒区立小・中学校の活用状況をまとめたものです。

Pick UP

目黒区立小・中学校
×
GIGA 支援員

定期的なミニ研修で 先生方の活用力 UP!

1ヶ月に 1 回程度、放課後に GIGA 支援員が、先生向けのミニ研修を実施しています。ご要望をお聞きしたり、先生方のニーズに合わせて研修内容をご提案しています。



実施した研修内容
Classroom の基本操作 (課題作成・提出)
Meet の基本操作

iPad の便利機能
(画面 2 分割表示、画面収録)

iMovie で動画編集
動画データドライブ移動について

支援員作成手順書は ドライブ共有

先生方の質問を元に、手順書を作成しています。困った時にいつでも確認できるように、情報教育担当の先生を通して、ドライブで共有しています。



多くの先生が困っていることにアンテナを張って、必要な資料を作成してもらっているので助かっています。



中学校 情報教育担当の先生